

# 医師国家試験対策委員会活動報告

医師国家試験対策委員長 5年次 黒崎 滋之

歳末の候、同窓会の先輩方、在校生の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

私は医師国家試験対策委員長を務めます、医学科5年次の黒崎滋之と申します。現在の医師国家試験対策委員の活動状況などをご報告したく思います。

今年度の医師国家試験対策委員（以下国対委員会）は9月まで、5年次42名の有志で活動を行っていました。そして10月より新たに46名の4年次委員が加わり、現在は計88名という大規模な国対委員会として運営しております。この大規模な国対委員会で、2012年2月11日（祝）～13日（月）にかけて行われます第106回医師国家試験に向けて、受験生をサポートしていく次第でございます。

さて、国対委員会の活動内容は、大きく分けて(1)模試・講座案内、(2)国試・マッチング等講演会、(3)国試ホテル合宿と受験会場サポート、(4)九州ブロック会参加の四つがあります。新体制となりました国対委員会は、第106回医師国家試験までは主にホテル合宿と会場サポートに向けて、その準備を綿密に行っています。ホテル合宿は試験前日から試験最終日まで行い、朝食夕食の配布や試験会場への受験生の移動手配、解答速報の配布などを行います。また会場サポートは試験期間中、受験生控え室にて昼食配布や軽食用意、予備の筆記用具や懐炉等アメニティーの準備などを行います。前回の第105回医師国家試験受験においても多くの受験生から感謝の言葉を頂いたため、第106回医師国家試験受験においても受験生が心地よく受験できる環境を整えていく次第です。

また、国家試験まで残りわずかという時期の模試・講座は

国家試験までの追い込みという側面が強いため、各講座のテキスト配布や模試の実施を上記のホテル合宿や会場サポートの準備と並んで行っています。

講演会については、2011年11月6日（日）に医師国家試験予備校の講師を招いた講演会を開催し、また11月18日（金）に6年生4名によるマッチングの状況に関する講演会を開催しました。ともに参加者からの高評価を頂いており、これからも継続していきたいと思っています。今後は第106回国試受験後に受験生の立場から見た国試対策についての講演会を開催する予定です。

九州ブロック会は九州・沖縄地区にある10大学医学部の国対委員会から構成され、各大学の情報を共有する場であるとともに、交流を深める場でもあります。毎年6月と11月に九州ブロック会は開催され、各大学の国試やCBTの結果分析、国試対策の情報共有などを行っています。2011年10月22日（土）には熊本大学にてブロック会が開催され、第106回医師国家試験対策や4年次のCBT対策、マッチング情報などについて意見交換しました。これらを琉球大学と受験生にも還元できるような、今後も様々な対応を協議したく考えています。

